

水産業用地の活用は

漁協を通じて貸し出す



菊地 光明 議員
(新 生 会)



整備が進む大沢地区の水産業用地

問 水産業用地の整備が重要である。施設の貸し出しはいつから実施するのか。設置場所や貸し出

し単価は。電気、水道、下水道等の社会資本整備や作業用施設に重要な海水の揚水施設は大丈夫か。
佐藤町長 水産業用地の貸し出しについては、漁協を通じて漁業者に貸し出す方向で検討しており、時期や使用料については現在協議中である。作業保管施設の将来的な整備を考慮し、水産業用地には上下水道の給水管や公共ますを設置している他、新防潮堤の海側

の水産業用地については、漁港管理者の県と協議しながら、当該用地に海水給水管を引くための側溝の設置を進めている。

問 田の浜地区の水産業用地確保の要望は。

甲斐谷副町長 現時点では計画はないが、今後船越湾漁協のほうから大きな声が上がれば漁協が動けば柔軟な対応をする。

問 使用料はどうか。
佐々木水産商工課長 漁協との協議になるが、近々に決定したい。

問 仮設作業所の使用はいつまでか。
水産商工課長 大沢地区については、漁家の皆さんに説明・協議していきたい。

その他の質問

- ◆ 道路整備の現状は
- ◆ 住宅再建計画は
- ◆ 観光産業の将来計画は
- ◆ 山田高校の学級減は
- ◆ 給食センター建築計画は

新斎場の新築移転は

30年度当初に稼働

問 新斎場建築までの年度別の具体的な計画を示せ。
町長 28年度は12月頃に敷地造成工事、29年3月ころには建築工事に着手する予定で、現在関連工事を進めているところである。29年度は引き続き造成工事、建築工事および外構工事を進め、30年度当初に新斎場を供用開始する予定である。

集会所の整備計画は

被災した集会施設を基本に

問 コミュニティの中心施設としての集会所整備計画は。
町長 コミュニティ形成の上で集会施設は重要であるとの認識を持っており。復興工事の進行とともに新たな町が形成されることとなるため、それに

れに対応した集会施設の整備を検討している。整備に当たっては財源の問題もあり、居住の戸数、従来施設とのバランスなどを総合的に勘案しながら、まずは被災した集会施設を基本に進めたい。